

令和7年度第1回菊池市公共交通会議議事録

- 日時 令和7年12月24日（水） 15時30分～16時30分
- 場所 305 会議室
- 議題 (1)きくちあいのりタクシー乗車地点の変更について
(2)菊池市公共交通計画に伴う令和7年度実施事業中間報告について

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議題

議題1の前に菊池市公共交通の概要について事務局より説明

【事務局】

- ・ 菊池市内を運行している公共交通機関について
- ・ きくちべんりカー及びきくちあいのりタクシーの利用者推移について

(1) きくちあいのりタクシー乗車地点の変更について → **承認**

【事務局】

- ・ 利用者やタクシー事業者からの要望、病院や施設等の閉業、利用状況等から追加、削除の対応をするもの
- ・ 乗車地点の変更予定日は令和8年4月1日

【委員】

- ・ 泗水まちなか②泗水第2体育館を削除した理由は。

【事務局】

- ・ きくちあいのりタクシー泗水西部・泗水東部地域線について、泗水まちなか及び桜山3か所を運行いただいている。桜山3か所について、導入当初から利用がなかったため、今回の乗車地点を見直すにあたり、桜山3か所について利用見込がないと判断し桜山3か所を全て削除している。

【会長】

- ・ 病院の閉業による乗車地点の削除は当然の発想であると思うが、その地点は閉業に伴いその地点から利用されている方はいなかったという認識で問題ないか。

【事務局】

- ・ 閉業した病院からの乗車について、利用されている方がいなかったため今回

削除している。

【委員】

- ・乗車地点の変更について、こういった形で告知をするのか。

【事務局】

- ・区長文書や広報等を検討中。また、現在利用されている方への周知として、タクシー事業者にお願いすることになるが、あいのりタクシーを利用された際に新しいチラシを配布していただく等のご協力をいただきたい。

【委員】

- ・今回資料として添付されている乗車地点のリストを見せることはできないか。これを見せた方が利用者はわかりやすい。

【事務局】

- ・リストについて利用者へ見せることは可能。リストは改めて準備させていただく。

(2) 菊池市公共交通計画に伴う令和7年度実施事業中間報告について

【事務局】

- ・令和6年度策定「菊池市地域公共交通計画」の概要について説明
- ・令和7年度事業実施状況について施策毎に説明

○目標1

〈施策1〉

- ・本市HPにおいてべんりカー及びあいのりタクシーの周知活動
- ・運転免許証返納者の支援として市内共通商品券又はべんりカー、あいのりタクシー共通乗車チケットの交付。令和7年度より、共通乗車チケット交付金額を1,000円相当から15,000円相当に増額し交付。交付実績について、12月時点で前年度と比較すると共通乗車チケットの伸び率が高くなっている。

〈施策2〉

- ・ITを活用した運行システムの導入について、あいのりタクシーの予約システムに関する情報収集を実施。
- ・システムを導入している熊本市や山鹿市では、アプリを使用した予約方法や、運行ルートの自動作成、コールセンターを活用していた。他自治体の話を聞いた上で本市としてはまだ導入の段階ではないのではと考えている。
- ・システムに関してはタクシー事業者からの意見もいただいたが、まずランニングコストについて、年間約1,000万円以上かかること、現在の予約に対する人件費等と比較しても数百万円増加する。

- ・乗合率について、熊本市等と比較すると低く AI ルートの効果が見込まれない。
- ・運転手の方が運行ルートを熟知されており、AI ルートより運転手のルートが正しいこともある。また、現在利用されている高齢者では、アプリの使用は難しい状況。
- ・山鹿市において、予約方法としてほとんどが電話での予約とのこと。現時点では本市での導入はまだ先であると考えているが、運転手の高齢化が進んでおり、若者の運転手確保や市外出身や移住者の方が運転手になった場合、システムを導入した方がいいこともある。

〈施策 3〉

- ・バス事業者が実施する運転体験会の実施前後の広報活動を実施。
- ・県外における移住イベントでのバス事業者の車内パンフレットの設置を行った。

〈施策 4〉

- ・ライドシェアを実施する他自治体への情報収集を実施
- ・地元の観光会社が運行管理及び運転手をされている状況であり、昼間の利用者はほとんどなく、夜間利用がメインであったとのこと。
- ・現在は市内タクシー事業者によって運行できているが、運転手不足がさらに深刻化した際、すぐにライドシェアに切り替えができるよう、ライドシェアの仕組み等について情報収集を行っていく。

○目標 2

〈施策 1〉

- ・阿蘇くまもと空港との連絡性向上、観光目的等での広域移動の活発化を図ることを目的とし、来年度以降からの空港アクセス実証運行の検討を行っている。
- ・熊本県において、県北広域本部管内観光地の交通アクセス強化に向けた調査検討業務を実施中。その結果を踏まえて具体的な検討を行っていく。

〈施策 2〉

- ・本市の開発状況を踏まえバス路線の見直しが必要であると考えている。
- ・人口増加が見込まれる、宅地開発箇所等を運行する路線バスの見直し等、バス事業者や市民、関係部局と連携しながら検討する。

〈施策 3〉

- ・自動運転を導入している熊本市への情報収集を実施。
- ・自動運転のため、道路状況等で急ブレーキをかけることが多々あること、その都度運転手が手動に切り替えて運転をする光景が見られた。
- ・自動運転導入の目的は運転手確保であるため、引き続き熊本市や全国の

自治体の情報収集を実施していく。

○目標 3

〈施策 1、施策 2〉

- ・べんりカーの利用者数が年々減少しており、1 周 90 分の運行や利用バス停の偏り等を踏まえ、バス停を減らす等の検討を行っているが、コンパクトにした方がいいのか等より具体的に今後検討していく予定。
- ・中心市街地において、ウォーカブルシティ構想に基づき、温泉街における街並景観整備や御所通の景観整備を実施予定。
- ・複数路線が行き交う御所通や栄町通りの路線の集約等を行い、利用者がわかりやすい路線網の構築を検討していく。

〈施策 3〉

- ・2 次交通、3 次交通の強化として実証を検討中。空港アクセスと同様に、調査結果を踏まえて来年度以降の実証につなげる。

【委員】

- ・運転免許証の自主返納者への支援として 15,000 円相当に増額するとのことだが今年だけ増額するのか。

【事務局】

- ・予算の問題もあるが今後も 15,000 円相当で続ける予定である。

※チケットの交付は 1 人 1 回まで。

【委員】

- ・クラブ活動が地域間になったため、朝一行く時間にあいのりタクシーが利用できるのであれば、乗合率も上がるし、利用者数も増えるのではと思う。
- ・現在のあいのりタクシー運行時間ではクラブ活動の帰り時間に合わないため、例えば、地域のクラブ活動の時間に合わせて運行時間を設定していただければ助かるなどと思う。

【事務局】

- ・他自治体において子どもの送迎をあいのりタクシーで実証実験したという事例がある。結果としてあまり利用がなく本格運行には至っていないが、今後参考に検討できればと思う。タクシー事業者にはスクールタクシーも運行いただいており、その運行と重なってしまうと難しい点もあり、また、運転手不足もあるため、兼ね合いを見ながら検討させていただきたい。

【委員】

- ・公共交通の担い手確保の推進として、電鉄バス等他事業者と併せて合同説明会の開催や、営業所単位で 12 月 7 日に菊池自動車学校の協力のもと会社説明会及び運転体験乗車を開催した。

- ・営業所単位での雇用を進めるために、地域採用を目指して求人活動を頑張っている。運転手不足が進んでいるのでぜひ多くの方を採用したいと思っている。お知り合いの方がいたらぜひ紹介してほしい。

【委員】

- ・空港アクセス交通実証運行に係る検討調査とのことだが、県としても複数市町村をまたがる広域的な交通の重要性を認識している。
- ・今年度、調査検討を行う市町村に対して、調査検討費を支援するような事業を制度化している。
- ・空港アクセスを検討するにあたり、他市町村と連携するのか、菊池市単独で運行されるのか現状を聞かせてほしい。

【事務局】

- ・当初、空港から菊池市経由、最終地点を他自治体というルートを検討していたが、他自治体において、同様の事業をされているため難しいとのこと。再来年度以降どうするか検討していきたい。
- ・今後広域的に行うことができれば、他自治体までの観光客が菊池市で降りたりと相乗効果が見込めるのではないかと考えている。

(3) その他

【会長】

- ・バス事業者及びタクシー事業者から近況をご報告いただきたい。

【委員】

- ・昨年の9月までは運転士106名であり貸し切り運行の稼働がほとんどなく厳しい状況にあった。
- ・平日限定の働き方を導入したところ、現在で122名まで運転士が増えた。
- ・他バス事業者との合同説明会等の周知への協力や、当社において福岡で開催された説明会において、菊池市よりノベルティや移住支援のパンフレット等を提供いただいている。
- ・このようなイベントを通じて採用、応募が増えてきており、12月の第2週土曜日に営業所において説明会を実施したが、過去最多の11名に参加いただき成果がでてきている状況。
- ・これに伴い、貸切の稼働も大幅改善しており、乗合事業についても増便のダイヤ改正を実施することができた。
- ・菊池市においても帰りのバスを1時間延長するダイヤ改正も実施している。
- ・きくちべんりカーや七城田島線についても支援いただいているが、その他の路線の見直しについて、今後菊池市が様々な事業を展開されることも理

解しているので、引き続き公共交通の発展、拡大に協力できるように会社として努めていきたい。

【委員】

- ・運転手不足が課題であるが、昨年から本田通勤バスを運行開始して1年が経過。収入も利用者も増えており上手く運行ができています。
- ・大津町や菊陽町等でバスを動かしたい部分もあるが、動かせない部分もある。運転手の確保が一番の課題である。
- ・現在菊池市を4系統が運行しており、その中でも市街地のバス停集約とのことだが、メインで運行している部分でもあるため、利便性のいい路線ができればと考えている。

【委員】

- ・バス事業者と同じく運転手不足に尽きる。
- ・今後運転手が増えるように企業努力をしていくが、引き続き乗り場の見直し等利用される方がもっと便利よく使えるように改良してほしい。

【委員】

- ・とにかく運転手不足、運転手の高齢化、若手が入ってこない。どうしたらよいか、考えてもどうにもできない状況。
- ・他事業者も同じだと思うが、様々な会議に参加しているが運転手不足についてそれに応える力がない、力不足であるということを感じている。
- ・どんなに募集をかけても運転手が来ない。菊池の方で熊本市内のタクシー事業者に勤めている方も多くいる。
- ・運転手確保のためにいい考えがあれば教えてほしい。

【委員】

- ・運転手不足については他事業者と同様。
- ・クラブチームの送迎についてご意見があったが、当社に関しては、あいのりタクシーは一部の地域のみを運行している状況。また、あいのりタクシーだけに運転手を雇用するのは不可能。
- ・1時間に1本程度運行しているが、あいのりタクシーだけで運転手を1人雇用するとなると、時給は500、600円にしかない。あいのり利用者も増えて運転手も増えるというのが一番の理想ではある。

【委員】

- ・各地点にカーブミラーが設置されているが、冬場になるとカーブミラーが凍りつく。なぜカーブミラーが設置されているのかというと、その道が危ないから。その危ない場所がどうしても見えないと困る。
- ・防災交通課に尋ねたところ、区長からの意見あれば対応できることを聞いた。ぜひ区長の中で危ない箇所を挙げてもらい、防止策を検討いただ

きたい。

【委員】

- ・カーブミラーの件は、要望があれば区長として防災交通課へ申請を出しているが、凍った場合についてはどうすることもできない。

【副会長】

- ・カーブミラーの件は防災交通課において予算の範囲内で取り換え等の対応を行っている。
- ・最近、曇りがあまり出ないような鏡に材質を替えているという話を聞いたことがあるが、鏡が凍らないようするのはなかなか難しいところ。

【委員】

- ・他自治体においてバス料金を小学生まで料金半額を高校生まで引き上げるという意見が出た。
- ・バスから乗合タクシーに乗り継ぎをした場合も半額になるとのことだが、予算も伴うためあくまで情報として提案する。

【委員】

- ・カーブミラーの件に戻るが、カーブミラーの清掃や補修点検等はどこが担当しているのか。

【副会長】

- ・以前は各地区の交通安全協会が自主的な活動をされていたと認識。
- ・現状、カーブミラーは相当数設置しているため、行政のみの対応は難しく地元の協力がないと管理は難しい。
- ・カーブミラーの老朽化等については予算の範囲内で対応を行っているため、遠慮なく相談していただきたい。

4. 閉会